

2017年スリング・ヒマール第2次偵察

計 画 書



サルプコーラ この深い峡谷の奥へ 2016年4月19日撮影

信 州 大 学 学 士 山 岳 会

○はじめに

中部ネパールヒマラヤのガネッシュヒマールとマナスルヒマールの間を深く刻んで南に流下する大河ブリ・ガンダキは、上流で二俣に分かれ、マナスル北方を水源とする本流である左俣の流域地方はヌプリ(=西山)及びクータンと呼ばれ、右俣であるシャル・コーラ(=東谷)流域地方はツムと呼ばれているチベット人が住む地域である。

この本流とシャルコーラに挟まれたグレートヒマラヤ主脈の北側の山群にスリング・ヒマールがある。周辺は6000m前後と比較的低い高度の稜線が連なっているが、唯一スリング・ヒマール主峰のチャマールは、7165mの高度を誇り、ブリ・ガンダキに面して険しい山容で聳えている。

2016年春渡部、高橋両名は、来るべき創立70周年記念事業の候補地としての検討資料に供するため、スリング・ヒマール周辺の偵察に出かけた。東面シャルコーラ支流サルプコーラ源頭のシャクパ氷河末端付近にあったカルカへの道は、昨今地元住民の高地での移牧放棄により廃道化しており、かつ2015年の地震による大規模な山腹崩壊により途絶えていることが判明した。氷河に向かう新たなルートを探すには、食糧燃料の不足から断念せざるを得なかった。

この度は、シャクパ氷河到達に目標を定め、チャマール双耳峰東面の全貌を明らかにしたい。

○隊の名称

2017年信州大学学士山岳会スリング・ヒマール第2次偵察隊
Shringi Himal 2nd Reconnaissance of SAAC 2017

○期間 2017年9月22日及び26日～11月4日

○目的

スリング・ヒマール主峰チャマール峰偵察

ツム地方シャルコーラ支流 サルプコーラ上流シャクパ氷河及び
シャルコーラ上流の踏査

*スリングヒマール (Shringi Himal)

チャマール (Chamar) 7165m (28° 33' 19" N, 84° 56' 48" E)

1953年6月ニュージーランド隊(隊長 A・ロバーツ)初登頂

チャマールは双耳峰で、主峰の南1.2Kmのチャマール南峰(Chamar South) 7161mは未踏峰である。南面ウディルコーラ、西面セラランコーラに面して、共に巨大な壁となって聳えている。

○隊 員

隊長 渡部 光則

担当：渉外、医療

住所：岐阜県岐阜市

中田 茂

担当：会計、食料

住所：千葉県松戸市

山崎 克則

担当：装備、記録

住所：長野県松本市

○雇用ネパール人スタッフ

ガイド1名 アン・ダワ・ラマ・シェルパ（2016年偵察時雇用）

コック1名、ポーター12名

○装備計画

氷河の偵察基地 C1 に必要なテント（1張）、炊事具は、カトマンズにデポしてある SAAC の装備を借用する。日本からは、上記テント用補充フライを持参する。キャラバン中の露營具、炊事具等はエージェントからレンタル利用する。

○食糧計画

日本からは偵察時のシャクパ氷河 C1 滞在4日分のアルファーマ、各種スープ等乾燥食品を持参、他はカトマンズのバザール、スーパーマーケット、日本食材店等で調達する。

○予算（案）

総 計

1. 国内経費 400,000 円 + 2. 国外経費 10,000US \$

外貨両替レート 1US \$ ≒103Rs（ネパールルピー） 1 円≒0.93Rs

（注：ビザ代、日山協山岳保険料、予防接種費、個人小遣い、隊交際費を除く）

内 訳

1. 国内経費 合計 400,000 円／3 人

1) カトマンズ往復フライト料金 KOREAN AIR

118,550 円×3 人=355,650 円

2) 装備・食糧・外傷用医薬品購入費 44,350 円
テントフライ 1 張、飲料水用 4L ポリタンク、C1 用 4 日×3 人分食料

2. 国外経費 合計 10,000US\$ / 3 人

1) トレッキング・偵察経費 計 3,705 US\$ + 374,700Rs (≒3,640 US\$)

① エージェント支払料 (許可証、国立公園入園料、TIMS、スタッフ支給
装備費、保険費、日当等雇用費、宿泊費、食費、手数料) 3,165US\$

② ポーター雇用費 (日当: 1800Rs/日・人) 302,400Rs

往: KTM~BC 7 日×12 人、復: BC~KTM 8 日×8 人、4 日×5 人

③ 食料 (14 日×5 人+4 日×2 人) 78 日・人×400Rs/日・人=31,200Rs

④ 燃料費 (キャンプ 18 泊) ケロシン 50L×90Rs/L=4500Rs

⑤ 隊員トレッキングロッジ宿泊費、食費 9 泊×3 人×20 US\$ = 540 US\$

⑥ 現地移動費 (ローカルバス) 小計 36,600Rs

往: 17 人×(500Rs+300Rs) = 13,600Rs、荷物代 10,000Rs

復: 10 人×(300Rs+500Rs) = 8,000Rs、荷物代 5,000Rs

2) KTM 滞在費 (ホテル宿泊費: 15 US\$ / 1 泊・人、食費、市内交通費)
(15 日×1 人+11 日×2 人) ×30 US\$ / 日・人=1,110US\$

3) 予備費 計 1,545US\$

○ネパールエージェント

コスモトレック (株)

Lazimpat, Kathmandu, NEPAL P.O Box:2541

Tel 977-1-4416226, 977-1-4411437 Fax 977-1-4415275

○在ネパール日本大使館

Panipokhari, Kathmandu, NEPAL P.O Box:264

Tel 977-1-4426680, 977-1-4414101

○国内留守本部

藤松 太一 (信州大学学士山岳会 会長)

○行動計画

① 9 月 22 日 中部国際空港 → ICN → カトマンズ (KTM) 渡部

9 月 26 日 中部国際空港、成田国際空港 → ICN → カトマンズ (KTM) 山崎、中田

②~④ 9 月 27 日~29 日 コスモトレック社と契約、前渡金支払い、準備、買出し
雇用契約 ガイド: 1 名、コック: 1 名、ポーター: 12 名程度

- ⑤ 9月30日 KTM⇒アルグハットバザール⇒ソティコーラ (by バス)
 - ⑥10月1日 ソティコーラ→ラブベンシ→マチャコーラ
 - ⑦10月2日 マチャコーラ→タトパニ→ヤルコーラ出合→ジャガット
 - ⑧10月3日 ジャガット→サレリ→フィリム→マナスル周回コースと離れ、
シャールコーラ流域に入り、左岸中腹の道を辿る→ロクパ
 - ⑨10月4日 ロクパ→大きく高巻いた後、橋を渡り右岸の尾根道を辿る。ツムリン
 - ⑩10月5日 ツムリン→ツムジェ、吊り橋手前のサルプコーラ右岸の道へ→
シャルプカルカ (2800m)、キャンプ (以下キャンプサイト CS)
 - ⑪10月6日 CS→カールペカルカ (3530m) →パンチェンカルカ (3780m)
ベースキャンプ設営 (BC)
 - ⑫10月7日 BC 停滞、休養日
 - ⑬10月8日 BC⇔サルプコーラ上流シャクパ氷河に向かうルート偵察
 - ⑭10月9日 BC→シャクパ氷河下部キャンプ C1 (約4000m付近を予定)
 - ⑮～⑰10月10日～12日 C1 滞在 シャクパ氷河上流の偵察活動
 - ⑱10月13日 C1→パンチェンカルカ BC
 - ⑲10月14日 BC 停滞、休養日
 - ⑳10月15日 BC 撤収→カールペカルカ→シャルプカルカ キャンプ
 - ㉑10月16日 CS→ツムジェ→ツォカンパロ→ラマガオン キャンプ
 - ㉒10月17日 CS→チューレー→ムーゴンパ キャンプ
 - ㉓10月18日 CS→チェキヤ ヤンジュカルカ キャンプ
 - ㉔10月19日 CS⇔タプレバンジャン往復
 - ㉕10月20日 CS→ムーゴンパ キャンプ
 - ㉖10月21日 CS 停滞、休養日
 - ㉗10月22日 CS→チューレー→ラマガオン キャンプ
 - ㉘10月23日 CS→ツォカンパロ→ツムリン
 - ㉙10月24日 ツムリン→ロクパ→フィルム
 - ⑳10月25日 フィルム→ジャガット→タトパニ
 - ㉑10月26日 タトパニ→ソティコーラ⇒アルグハットバザール (by バス)
 - ㉒10月27日 アルグハットバザール⇒KTM (by バス)
- KTM 出発～KTM 帰着まで全28日 (内休養日3日、ロッジ9泊、キャンプ18泊)
- ㉓～㉔11月3日 帰国 KTM✈→4日 ICN✈→中部国際空港、成田国際空港

○ The Itinerary for Shringi Himal Reconnaissance

- ① 30th Sep. KTM⇒Arughat Bazar⇒Soti Khola (by bus)
- ② 1st Oct. Soti Khola→Labubesi→Machha Khola
- ③ 2nd Oct. Machha Khola→Tatopani→Yaruphant→Jagat

- ④ 3rd Oct. Jagat→Philim→Tsum Valley Lokpa
- ⑤ 4th Oct. Lokpa→Chumling
- ⑥ 5th Oct. Chumling→Kowa→Sarpu Khola→Sharpu Kharka Camp
- ⑦ 6th Oct. Camp Site (:CS)→Kharpe Kharka→Pangcheng Kharka
Construct a Base Camp (:BC)
- ⑧ 7th Oct. BC Stay and rest day
- ⑨ 8th Oct. BC⇔Find the route to Syakpa Glacier
- ⑩ 9th Oct. BC→Syakpa Glacier-end Camp (:C1)
- ⑪~⑬ 10th Oct.~12th Oct. Stay at C1
Reconnaissance to upper stream Syakpa Glacier
- ⑭ 13th Oct. C1→Pangcheng Kharka BC
- ⑮ 14th Oct. BC Stay and rest day
- ⑯ 15th Oct. BC→Kharpe Kharka→Sharpu Kharka Camp
- ⑰ 16th Oct. CS→Kowa→Chhokang Paro→Lamagaon Camp
- ⑱ 17th Oct. CS→Chhule→Mu Gompa Camp
- ⑲ 18th Oct. CS→Chhekya Yanje Karka
- ⑳ 19th Oct. CS⇔Thaple Bhanjyan
- ㉑ 20th Oct. CS→Mu Gompa Camp
- ㉒ 21st Oct. CS Stay and rest day
- ㉓ 22nd Oct. CS→Chhule→Lamagaon Camp
- ㉔ 23rd Oct. CS→Chhokang Paro→Chumling
- ㉕ 24th Oct. Chumling→Lokpa→Philim
- ㉖ 25th Oct. Philim→Jagat→Tatopani
- ㉗ 26th Oct. Tatopani→Machha Khola→Soti Khola⇒Arughat Bazar (by bus)
- ㉘ 27th Oct. Arughat Bazar⇒KTM (by bus)

Departure from KTM to Arrival at KTM total 28 days, inclusive of 3 rest days
 Stay at Lodge for 9 nights , stay at tent for 18 nights

スリング・ヒマール偵察行の共同装備表

品名	数量	KTM購入可否	備考
○購入装備リスト			
エスパース4人用テントフライ	1	×	*
飲料水用ポリタンク 4L	1	×	折り畳み式
殺虫剤	1	×	
外傷用消毒治療薬	1セット	×	
医薬品セット 新規2人分	1	×	新谷ドクター
ガスカートリッジ 寒冷地用	6缶	○	カトマンズで購入
○カトマンズ デポ 隊員用携行品リスト			
エスパースマキシム4人用テント	1		*持参新品フライ
ツェルトザック 2~3人用	1		
コップフェル 4人用	1		
やかん 0.9L プリムス製	1		2016年携行品
ガスバーナーヘッド EPI分離式	1		
バーナー台	1		ベニヤ板
浄水器 プラティパス製 2L	1		2016年携行品
携帯用蚊取り線香	1セット		2016年携行品
ヒルノック(蛭忌避剤)	1		2016年携行品
医薬品セット 2人分	1		2016年携行品
ザイル 9mm×50m 渡部個装	1		2016年携行品
フィックスロープ 6mm×50m	2		ダンライン製
スリング用補助ロープ 6mm×10m	1		2016年携行品
ハーケン	6		
○日本から持参する装備(渡部個装)			
ハンマー	1		
エアーランタン(ソーラーバッテリー)	1		
ポイズンリムーバー(毒液吸引器)	3		毒虫、毒蛇、蛭対策
標識用ピンクテープ	1巻		
ガスバーナーヘッド プリムス製	1		
高度計 スイス トーメン社製	1		9000m
温度計 エンペックス社製	1		-50℃~+50℃
双眼鏡	1		
パルスオキシメータ	1		SpO2測定

○携行医薬品リスト (2016年残+2017年)

高山病 予防

薬品名	処 方	数 量	効 能
ダイアモックス 250 mg	1錠/就寝時	20錠	呼吸性アルカローシス改善

高山病 脳浮腫

ダイアモックス 250 mg	2錠/朝・夕2回	40錠	
デカドロロン 0.5 mg	1錠3回/日	30錠	
ロキソニン	1錠/適時	20錠	

高山病 肺水腫

ダイアモックス 250 mg	2錠/朝・夕2回	*(40錠)	
アダラートL 10 mg	1錠/日	2錠	
アダラートL 5 mg	翌日から1錠	8錠	
デカドロロン 0.5 mg	3回/日	*(30錠)	
利尿剤ラシックス 20 mg	1錠/日	10錠	

*脳浮腫対策用ダイアモックスを兼ねる

呼吸器疾患 気管支炎

去痰剤ムコソルバン 15mg	1錠1日3回食後30分	36錠	痰の切れ、鼻汁の排出促進
PL顆粒	1包1日3回食後30分	36包	痛み炎症の抑え、風邪の鼻水、喉の痛み
グロリアミン顆粒	1包1日3回食後30分	36包	消化器官粘膜保護(胃潰瘍、胃炎の治療)
メジコン錠 150mg	1錠1日3回食後30分	36錠	咳を鎮める

風 邪

咳剤メジコン錠 150mg	1錠1日3回食後30分	42錠	咳を鎮める
トランサミンカプセル 250mg	1錠1日3回食後30分	12錠	喉の腫れ、痛みを抑える
PL顆粒	1包1日3回食後30分	42包	痛み炎症の抑え、風の鼻水、喉の痛み
グロリアミン顆粒	1包1日3回食後30分	12包	消化器官(粘膜保護胃潰瘍、胃炎の治療)

鎮痛・解熱

ロキソニン 60mg	1錠1日3回食後30分	12錠	鎮痛、炎症の防止
レバミピド 100mg	1錠1日3回食後30分	12錠	消化器官の粘膜保護
バッファリンA	2錠1日2回食後30分	40錠	6時間以上空ける

抗生剤

セフゾンカプセル 100mg	1錠1日3回食後30分	54錠	感染症
クラビット 500mg (重症感染)	1錠/1日1回厳守	22錠	感染症(重症)
抗ウィルス タフミル	2回/日 5日継続	5日×2人	

消化器疾患、止痢剤

ラックビーN 微粒	1 包朝・夕食前 30 分	8 包	腸の調子を整える
ナウゼリン錠 10	1 錠朝・夕食前 30 分	2 8 錠	吐気、食欲不振、腹部膨張感防止
ロペミンカプセル 1mg	1 錠朝・夕食前 30 分	2 8 錠	下痢止め
細菌性下痢ホスマイ CP500mg	1 錠 朝昼夕 3 回/日	3 0 錠	

抗原虫

フラジール 250mg	1 錠 1 日 3 回食後 30 分	6 3 錠	ランブル鞭毛虫感染症*
-------------	--------------------	-------	-------------

*ジアルジア症：1 錠 1 日 3 回 5～7 日間経口投与、アメーバ赤痢：1 回 500mg 1 日 3 回 10 日

間経口投与

皮膚疾患

リンデロン VG		5 本	
----------	--	-----	--

眼病、雪盲等

リンデロン点眼薬		5 本	
----------	--	-----	--

外傷用薬品

包帯、ガーゼ、油紙、脱脂綿		1 セット	包帯大・小
絆創膏		1 巻	
綿棒		5 0 本	
救急絆創膏	19mm×72mm	7 0 枚	防水
救急絆創膏	70mm×55mm	1 2 枚	
マキロン	40ml	1 本	殺菌消毒
イソジン	10ml	1 本	殺菌外傷治療薬
キシロンA軟膏	10 g	1 本	きり傷、すり傷、靴擦れ等
マキロンSかゆみ止め液		1 本	虫刺され
外用鎮痛・消炎固形軟膏		1 本	
経皮吸収型鎮痛抗炎症剤		1 4 枚	湿布薬
熱さまシート		2 枚	

測定器具等

体温計		1	
パルスオキシメータ		1	S p O 2 測定
ピンセット		1	
はさみ		1	

経口補水液の作り方 水（湯冷まし）1 L 当たり

砂糖 40 g（大さじ 4 1/2 杯）、塩 3 g（小さじ 1/2 杯）、レモン汁適宜